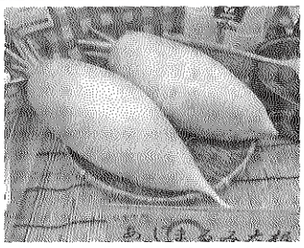
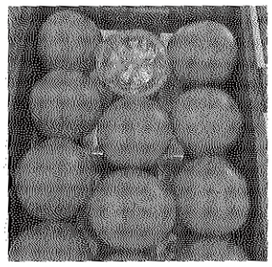
第159回品種見本市　出展メーカーのイチ押し

かわいいダイコン足
ホウレンソウ作業性UP

2月26日に国立市場で開かれた第159回品種見本市（青果育種研主催）は種苗メーカーなど19社が出展し、多摩地域周辺の栽培に適した野菜品種をPRした。前号に引き続き、出展各社のイチ押し品種（商品）を紹介する。


ダイコン「あじまるみ」（大和農園）

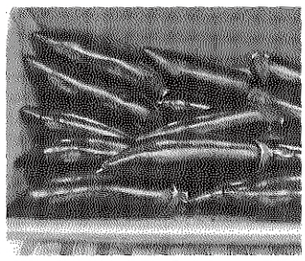
「タイガージェット」（ナント種苗）


トマト「はれぞら」（みかど協和）

トマト「はれぞら」（みかど協和）

低温期の果実肥大性に優れ果重220g前後。ゼリーの入っている部屋数が多く、柱がしっかりしているため硬玉で、裂果や軟化玉が少なく秀品率も高い。流通性に優れ、店持ちもいい。トマトモザイクウイルス病（Tm-2a）、萎凋病R1、2、葉かび病（Cf9）に強、黄化葉巻病（イスラエル・マイルド両系統）、斑点病、ネコブセンチュウには中程度の耐病性。青枯病に比較的強い。☎043（311）6100

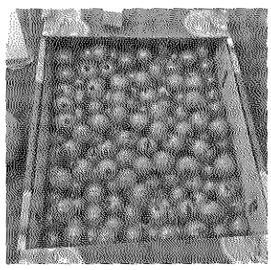
コカブ「雪牡丹」（武蔵野種苗園）


単為結果性ナス「ラクロ」（アサヒ農園）

タマネギ「タイガージェット」（ナント種苗）

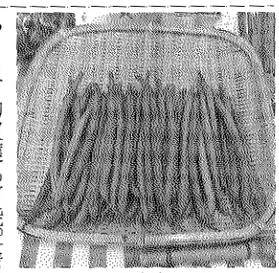
暖地で3月中下旬から、一般地では4月上旬から収穫可能な超極早生品種。冬場の平均気温が5℃を下回らない産地なら2月下旬収穫も可能。分球・抽苔が少なく秀品率が高い。甲高でよく揃う。玉重280g前後。球は良く締まり、首は細く、外皮は銅黄色。草勢はおとなしめで、葉は濃緑でやや細く立性。肥料要求量は高い。収量を上げるには元肥を重視する。☎0744（22）3351

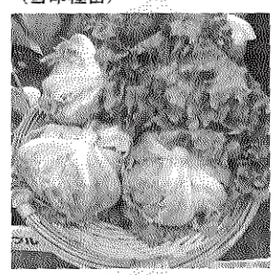
ホウレンソウ「福兵衛」（タキイ種苗）


ミニトマト「アルル」（朝日工業）

ダイコン「あじまるみ」（大和農園）

濃く鮮やかで艶のある青首によく映える白肌はとてもかわいい〝ダイコン足〟。直売所では目を引く人気者になりそう。一般的な青首と比べて根長が短いので曲がりや岐根が発生しにくく、ス入りが遅くて在圃性に優れる。肉質緻密できめ細かく、軟らかいので煮炊き用に最適。65～70日で1・5kg、90日で2kg、100日で2・5kgと肥大力に優れる。草勢が強く、肥料設計には注意。☎0743（62）1183


インゲン「BN-132P」（雪印種苗）


レタス「ユースフル」（カネコ種苗）

ホウレンソウ「バートン」（住化農業資材）

ナス「ラクロ」（アサヒ農園）

とげなしで単為結果なので受粉やホルモン処理の必要がない。長卵型の早生種でタネが少なく、カットしても果肉がきれい。ほのかな甘みがあり日持ち性が非常に良い。漬物から煮る・焼く・炒めるなど調理の幅が広い。草勢はおとなしく、枝が茂りにくく手入れが簡単。第1果から収穫できる。低温期でも着果・実の太りが良く、夏秋まで長く収穫できる。☎0587（97）2525

コカブ「雪牡丹」（武蔵野種苗園）

低温期の肥大に優れ秋、冬、春に播種が可能。白さび病、根こぶ病に耐病性を持っている。球は白く光沢があり、球形は厚みのある厚扁円型。球揃いが抜群に良く等級のばらつきが少ない。草姿は立性で、葉柄は丈夫で折れにくく、揃いも良い。上位産地の千葉、埼玉で多く導入されている。栽培しやすいので家庭菜園でもおススメ。☎03（3986）0715

ミニトマト「アルル」（朝日工業）

オランダの大手種苗会社との共同育成品種で、熊本県などのトマト産地で試験栽培を重ね、量販店の試食販売でも高い評価を得た早生種。黄化葉巻病（イスラエル・イスラエルマイルド両系統）、斑点病、葉かび病（Cf9）、ネコブセンチュウ、トマトモザイクウイルス病（Tm-2a）などに強い。通常の栽培方法でも高糖度となり、極めて甘い。果実はきれいな球形で女性に人気がある。☎0274（52）6304

ホウレンソウ「福兵衛」（タキイ種苗）

収量性、作業性をアップした春どり早生種。べと病R1～12、14、15に抵抗性。葉色は濃緑で艶がある。袋詰めがしやすいように葉柄を比較的短くし、しなやかで折れにくくして作業性を改善。大葉太軸で株張りを良くしたことで、荷姿のボリューム感を持たせている。播種は10～2月。厳寒期には「伸兵衛」が必要な地域もある。☎075（365）0123

インゲン「BN-132P」（雪印種苗）

今夏発売予定の軟らかく甘みのある細身のつる性丸莢。細めのインゲンは食べる際キュッキュッという耳障りな音がするが、それがない。硬いとスジ筋張ったりするが、それもなく程よい食感が味わえる。やや旺盛な草姿で開花し、収穫始めが早く、長期間収穫できる。莢は離れがよく収穫しやすい。分枝はやや少ないので50～100cmで摘心し、分枝を促しながら樹勢を保つ。☎043（241）7732

鮮度保持フィルム「P-プラス」（住友ベークライト）

レタス「ユースフル」（カネコ種苗）

カルマータイプの露地栽培の中早生種。シャキシャキ感と甘みが強い。低温下での球肥大性に優れ、2月下旬から4月に収穫可能。球は鮮緑色の扁円形。安定した結球性を持ち、球の締まりは早すぎず、在圃性に優れる。草勢はやや強めで、急激な気温低下でも生育が止まりにくい。凍害に強く、数回の霜にも耐えられる。☎027（251）1611

ホウレンソウ「バートン」（住化農業資材）

べと病のR1～13に抵抗性。一般地の播種は10～11月、トンネル・ハウスは12～1月の秋冬栽培に適している。葉色は極濃緑で裏と表の差がなく、葉面滑らかで美しい荷姿となる。草姿立性で、軸折れや葉の絡みが少ない。荷傷みが少なく、作業効率が向上していることで評価を受けている。冬品種と比べると生育スピードは緩やかだが、寒さによる生育停滞は起こりにくい。☎06（6204）1877

青果物鮮度保持フィルム「P-プラス」（住友ベークライト）

ジャガイモを「P-プラス」と普通のパンチ穴袋に入れて、店舗と同じ20℃の室温で蛍光灯を当て1週間放置しておくと「P-プラス」のジャガイモは変化していないが、パンチ穴袋のジャガイモは芽が出て皮が緑化している。「P-プラス」は小さな穴で青果物の呼吸を調整し〝冬眠状態〟をつくり、鮮度を保持する。大手量販店やサツマイモの輸出などに使用されている。☎03（5462）4220